



上越市立牧小学校

学校だより

第7号

令和3年12月1日

文化の秋を彩る“小中合同文化祭”



11月3日、コロナ禍の中、牧小・牧中合同文化祭を迎えることができました。今年度も新型コロナウイルス感染症予防のため、ご来賓や地域の方から子どもたちの活躍をご覧いただけなかったことが残念です。また、保護者の皆様におかれましては、子どもたちの活気に満ちた文化祭をご観覧いただき、誠にありがとうございました。

文化祭にあたり、子どもたち全員が「ステージ発表」と「作品展示」に短い準備時間の中にあっても、一人一人がやるべきことをやり遂げてくれました。文化祭とは、日頃からの学習の成果を発表する場であり、場当たりの何かをすればよいわけではありません。

見てくれる方々を楽しませるため一生懸命にダンスや楽器演奏、セリフの練習をしてきました。その成果がみられた素敵なステージ発表でした。絵画も個性溢れる作品に仕上がりました。子どもたちの頑張り感激するとともに、敬意を表したいと思います。

これからも自分のやるべきこと、やらなくてはならないことに向き合い、学校生活に励み、素敵な牧小学校を創ってくれることを期待しています。そして、保護者・地域の皆様、教職員等、まわりの大人たちがそれぞれの役割を補完し合い、子どもたちに寄り添えられる学校でありたいと思います。これからも、温かなご理解とご協力をお願いいたします。

写真で振り返る文化祭



全国学力・学習状況調査の結果概要について

5月下旬に、2年ぶりに行われた6年生を対象とした全国学力・学習状況調査の結果が8月末に公表されました。下記に当校の結果概要をお知らせします。

【教科に関する調査結果から】

◆国語、算数ともに、全国及び新潟県の平均正答率を大きく下回りました。

○国語では、特に、漢字の正しい使い方や主語・述語及び修飾と被修飾との関係を捉える等、言葉の特徴や使い方に関する問題に課題があることが分かりました。

○算数では、三角形の面積の求め方や複数の図形を組み合わせた面積の求め方等、特に、図形に関する問題に課題が見られました。

【質問紙調査結果から】

○「自分には、よいところがあるか」「難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦するか」「いじめは、どんな理由があってもいけないことか」の肯定的な回答は、全国・県よりも高い数値となりました。特に、「いじめ」に関する肯定的な回答は100%でした。

○「将来の夢や目標があるか」「自分で決めたことはやり遂げるか」「人の役に立ちたいか」の肯定的な回答は、全国・県よりやや下回りました。

○「家で計画を立てて勉強しているか」「1日当たりの読書時間」の数値は、全国・県に比べ、下回りました。今後、ご家庭と連携し、改善を図っていきたいと考えています。

研究推進委員会で、春に行ったNRTの結果と合わせて分析を行い、課題を明確にした授業改善に取り組んでいるとともに、上教大支援プロジェクトで「共感的人間関係に基づいた学級づくりとそれを基盤とした信頼性と協働性に満ちた授業づくり」〔学級づくりと授業づくりの一体化〕を進めているところです。

教職員も一緒に牧小の絆づくり



全校朝会で、楽しみながら信頼関係をつくる活動「Maki Adventure Program」(MAP)を行い、教職員も一緒にアクティビティをとおして、教職員を含めた牧小の絆づくりを行いました。また、牧っこタイムでも、縦割り班で自分たちが考えた活動(遊び)を行い、絆を深めることができました。

読書の秋に…



みずほ教育福祉財団様から英語の絵本や動物の図鑑、遊びに関する本、絵童話等17冊の図書の寄贈をいただきました。

図書室で早速、本好きな5・6年生が手に取り、読み始めました。今後、授業や家での読書に活用させていただきます。ありがとうございました。

子どものやる気を「はぐくむ言葉」と「つみとる言葉」

最近、読んだ本で、子どもへの声掛けについて参考となる内容がありましたので、以下に紹介します。

声掛けには「やる気をはぐくむ言葉」と「やる気をつみとる言葉」の二種類があると考えています。ぜひ一度、ご自分の言葉をチェックしてみてください。一番よくないのは、子どものプライドを傷付けるような言葉です。「本当にできるの?」「あなたには無理よ」など、やる気を打ち消すような言葉は控えましょう。

はぐくむ言葉に関しては、男女によって効果を発揮する言葉が少し異なることが分かってきました。例えば、男の子はヒーローのように格好いいものが大好き。「頼りになる」「助かった」と言ってあげると喜びます。それから、ここぞという時はよく、「天才!」「すごい!」とひと言で端的に褒めます。すると、どんどん調子上げて成長してくれるのです。小学生の女の子は男の子よりも精神の成熟度が高いことが多いため、字やノートが綺麗なことや、整理

整頓、宿題などがきちんとできていることを褒めてあげると、もっと頑張ろうと芽を伸ばしてくれます。「かわいいね」「プリンセスみないだね」と褒めたり、洋服や持ち物などを褒めてあげたりするのも一つの方法です。

子どもたちを褒める際に注意しなければいけないのが、均等に褒めることです。誰か一人だけを褒めているようでは、他の子のやる気を削ぐことになり、成績だけを褒めてしまうと、学力だけを誇示して礼儀作法や時間を守るといった基本姿勢が守れない人間に育ってしまいます。一方で、叱るべき時は叱らなければなりません。叱る時は、「行動」を注意することが大切です。特に、人を傷付けるような言動は厳重に注意します。また、被害者意識が強かったり、「どうせ私なんて」と卑屈になったりしがちな子にも、「その受け取り方はよくないよ」と“考え方”を注意します。自己イメージが低いと自分で自分の芽をつみとることになるからです。

○はぐくむ言葉

応援しているよ・大丈夫!・約束守れているね・おいしそうに食べているね・きちんと片づけられたね・うまいっているね・勉強できているね・ありがとう・おはよう・信じているよ・成績上がってよかったね・一人でできたね・気をつけてね・おやすみ・いってらっしゃい

▲つみとる言葉

早くしなさい!・勉強しなさい!・なんでできないの!・いつまでテレビ見ているの!・あの子と付き合っちゃダメ!・いい加減にゲームやめなさい!・お母(父)さん疲れているの・○○ちゃん(君)はできているのに、どうしてあなたはどうしてダメなの

ステージメソッド塾代表 西角けい子『母』VOL.2 (致知出版) より抜粋

12月の予定

今後変更される場合があります

1日(水) 個別面談 ~3日

14:20 下校

7日(火) 県SC来校

9日(木) 委員会

10日(金) 市SC来校

21日(火) 市SC来校

23日(木) 2学期終業式

給食後下校

24日(金) 冬季休業 ~1月6日

1月7日(金) 3学期始業式

給食後下校

今月のことば:褒めるということは、土壌に水をやり、肥料をおくような仕事

また、その芽生えに注ぐ太陽の熱と光にも相当するもの

森 信三